

生態情報統御学演習

Practice on Systems Biology for Molecular Signaling

2 単位 (選択) 1 年 (通年), 2 年 (通年), 3 年 (通年)

坂口 末廣(授業責任者)・教授 / プロテオミクス医学専攻 生体応答医学講座

内山 圭司・准教授 / プロテオミクス医学専攻 生体応答医学講座, 森 剛志・助教 / 疾患酵素学研究センター

【授業目的】 生体における情報の統御システム, 及びその統御システムの破綻と様々な疾病の病態生理についての基礎知識を習得する。

【授業概要】 分子間における情報伝達の仕組み, さらにその仕組みの破綻が如何に病気を招くのかについてのいくつかの代表的な学術論文を抄読する。また, これらの論文の抄読を通して, 作業仮説や研究計画の立案及び実証の方法について統括的に指導する。

【履修上の注意】 なし

【授業計画】

	大項目	内容
1.	抄読会	毎週水曜日 10:00~ 12:00
2.	研究指導・技術指導	随時

【成績評価】 出席状況, 実習態度, レポートなどにより評価する。

【再試験】 なし

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217598>

【連絡先】

⇒ 坂口 (sakaguch@ier.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 内山 (088-633-7448, ku200@ier.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 森 (morit@ier.tokushima-u.ac.jp) MAIL